

# 令和5年度

## 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について



東大阪市花園ラグビー場



東大阪市教育委員会

# 目 次

I. 調査の概要	1 ページ
II. 調査結果	
実技調査 (小学 5 年生)	2 ページ
実技調査 (中学 2 年生)	3 ページ
質問紙調査 (小学 5 年生)	4 ページ
質問紙調査 (中学 2 年生)	5 ページ
III. 今後の方針	6 ページ

# I. 調査の概要

## 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

## 2. 調査の対象とする児童生徒（東大阪市）

小学校及び義務教育学校前期課程第5学年（対象児童 3,559人）

中学校第2学年、及び義務教育学校後期課程第8学年（対象生徒 3,395人）

## 3. 調査事項

### (1) 児童生徒に対する調査

#### ア 実技に関する調査

小学校[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン  
50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

中学校[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、  
50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

#### イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する質問紙調査

### (2) 学校に対する質問紙調査

学校における体育、保健体育の指導及び特別活動に関する質問紙調査

## 4. 調査実施期間

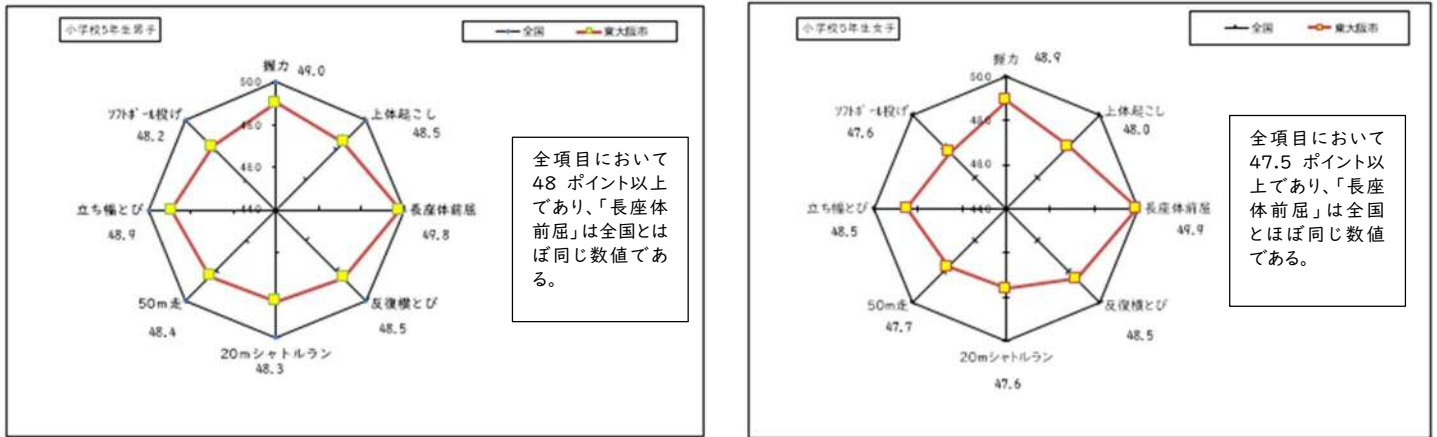
令和5年4月～令和5年7月末

## II. 調査結果

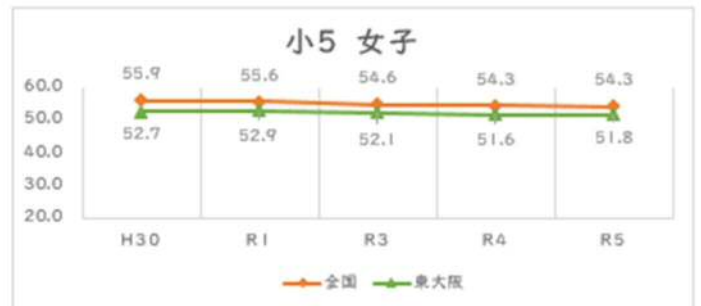
# 実 技 調 査

### ○小学5年生

\*Tスコア…項目付近の数字は全国平均を50としたときの全国と東大阪の値)



\*東大阪市の体力合計点の推移

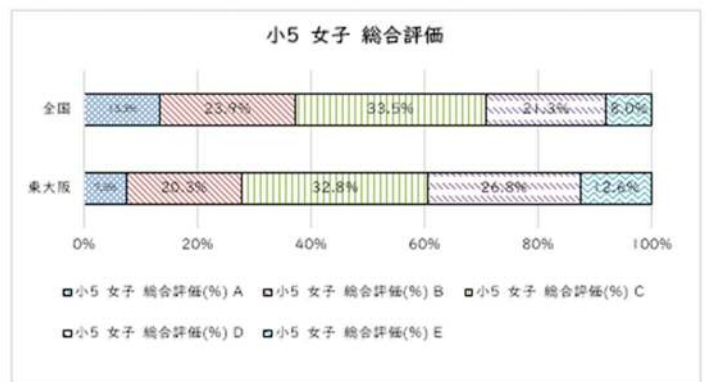
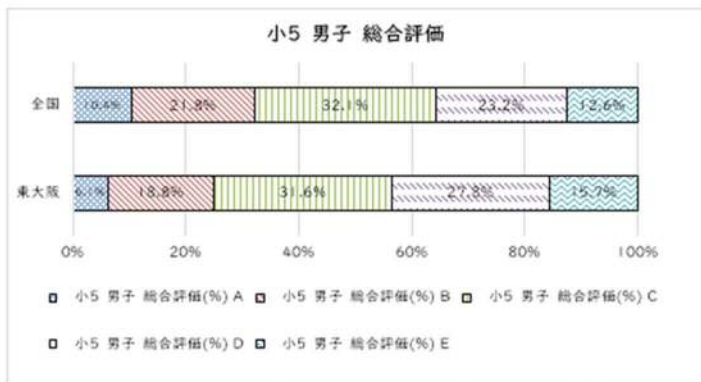


R2は新型コロナウイルス感染症により未実施

\*令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果

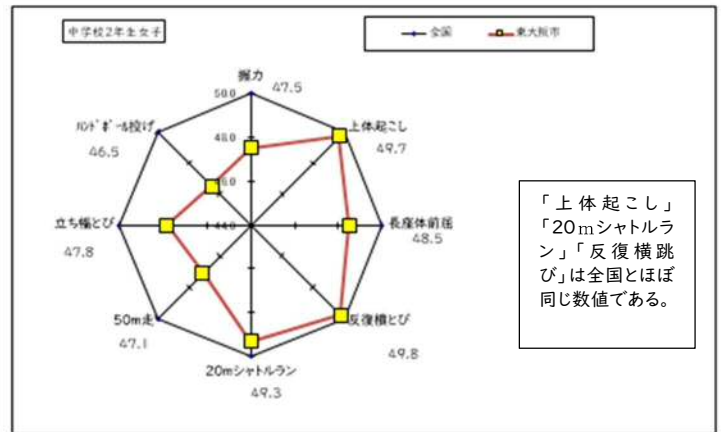
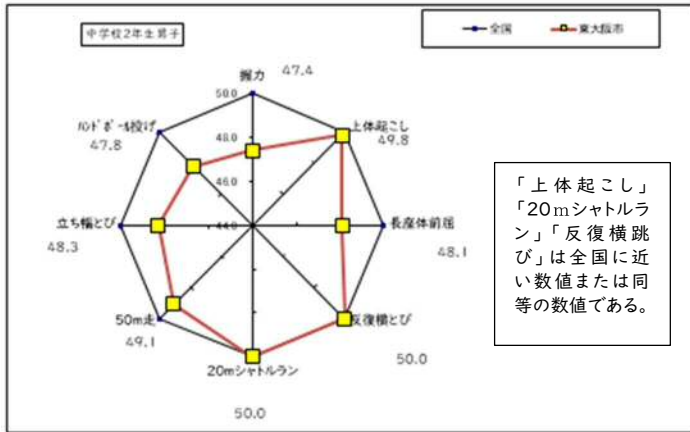
		身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	得点合計(点)
小学校5年(男子)	全国	139.61	35.35	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
	東大阪	139.56	36.01	15.76	18.11	33.81	39.38	43.21	9.67	148.55	19.02	50.82
小学校5年(女子)	全国	141.26	35.24	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
	東大阪	141.26	35.64	15.59	16.95	38.32	37.60	32.91	9.92	140.88	12.09	51.77

\*総合評価

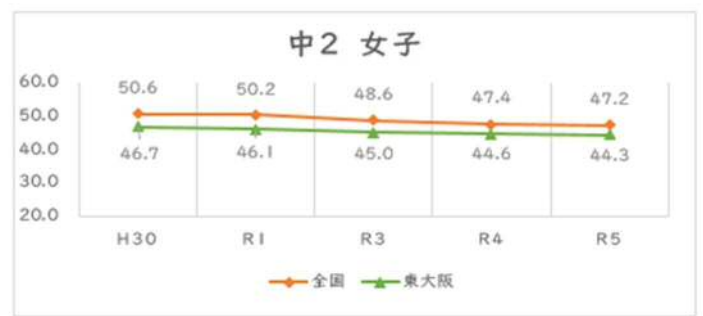
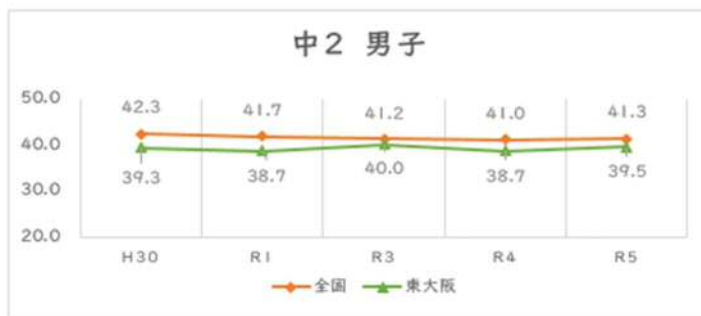


## ○中学2年生

\* Tスコア…項目付近の数字は全国平均を50としたときの東大阪市の値)



### \*東大阪市の体力合計点の推移

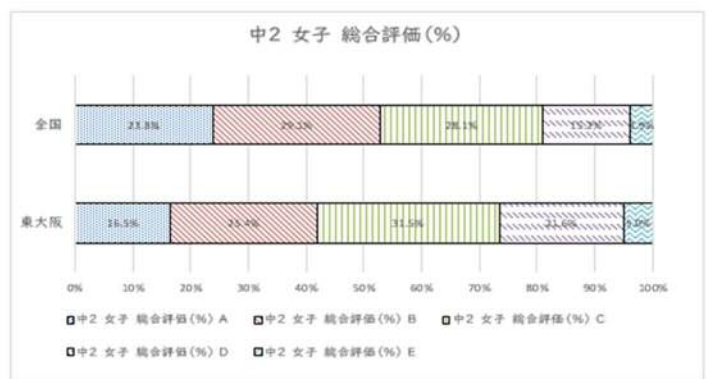
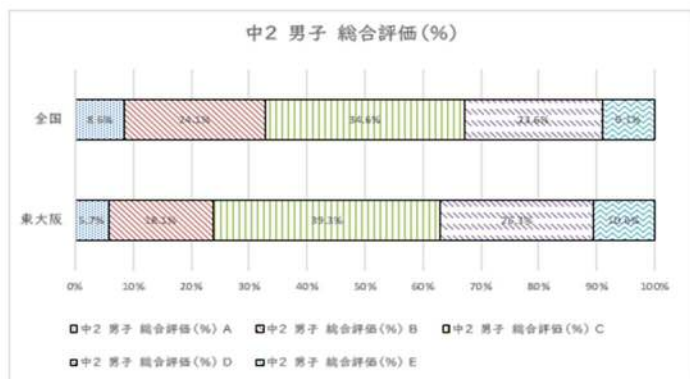


R2は新型コロナウイルス感染症により未実施

### \*令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果

		身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	得点合計(点)
中学校2年(男子)	全国	161.17	50.22	29.02	25.82	44.16	51.22	78.07	8.01	197.02	20.40	41.32
	東大阪市	160.91	49.69	27.14	25.68	42.08	51.19	77.94	8.09	191.91	19.03	39.49
中学校2年(女子)	全国	154.94	46.87	23.15	21.62	46.27	45.65	50.70	8.95	166.34	12.43	47.22
	東大阪市	155.11	46.49	22.00	21.45	44.66	45.52	49.25	9.21	160.50	10.93	44.30

### \*総合評価



### \*実技調査全体(小5、中2)の考察

#### 【実技調査の考察】

全国よりも低い数値となっている種目もあるが、R4 年度より向上している種目もある。今後も、運動やスポーツを行うことの楽しさや喜びを味わせるとともに、体力の向上につながることを実感させていけるような取組みを進めていく必要がある。

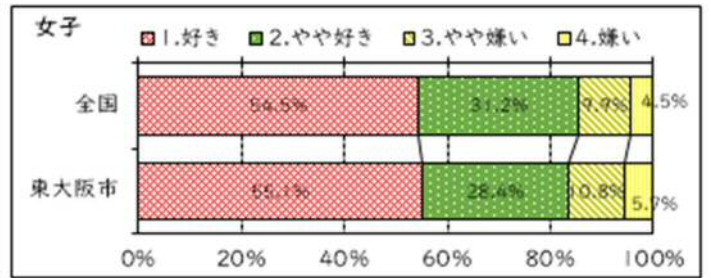
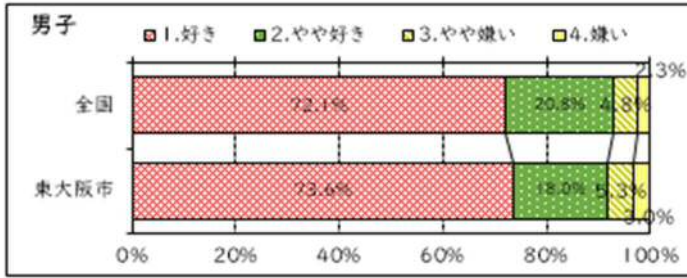
また、本市の体力合計点について、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限がなくなったものの、コロナ禍以前の水準に戻っていないことから、引き続き取り組みの強化が求められる。

# 質 問 調 査

## ○小学5年生

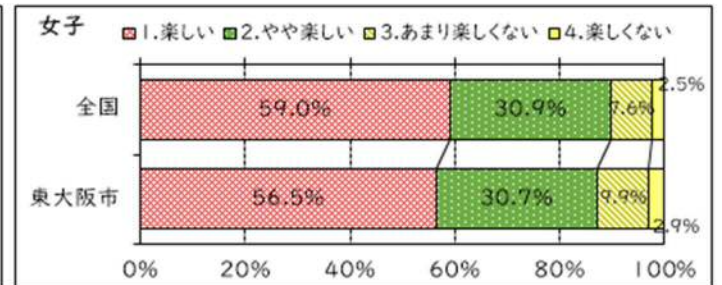
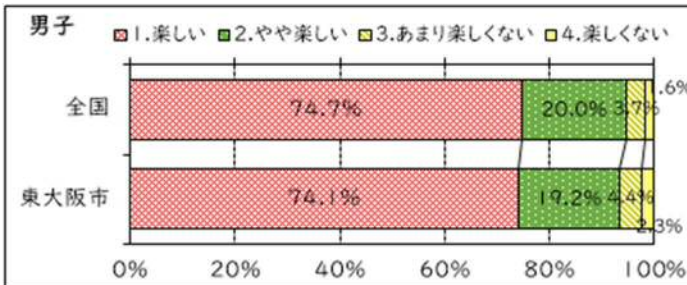
### 生活に関すること

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。



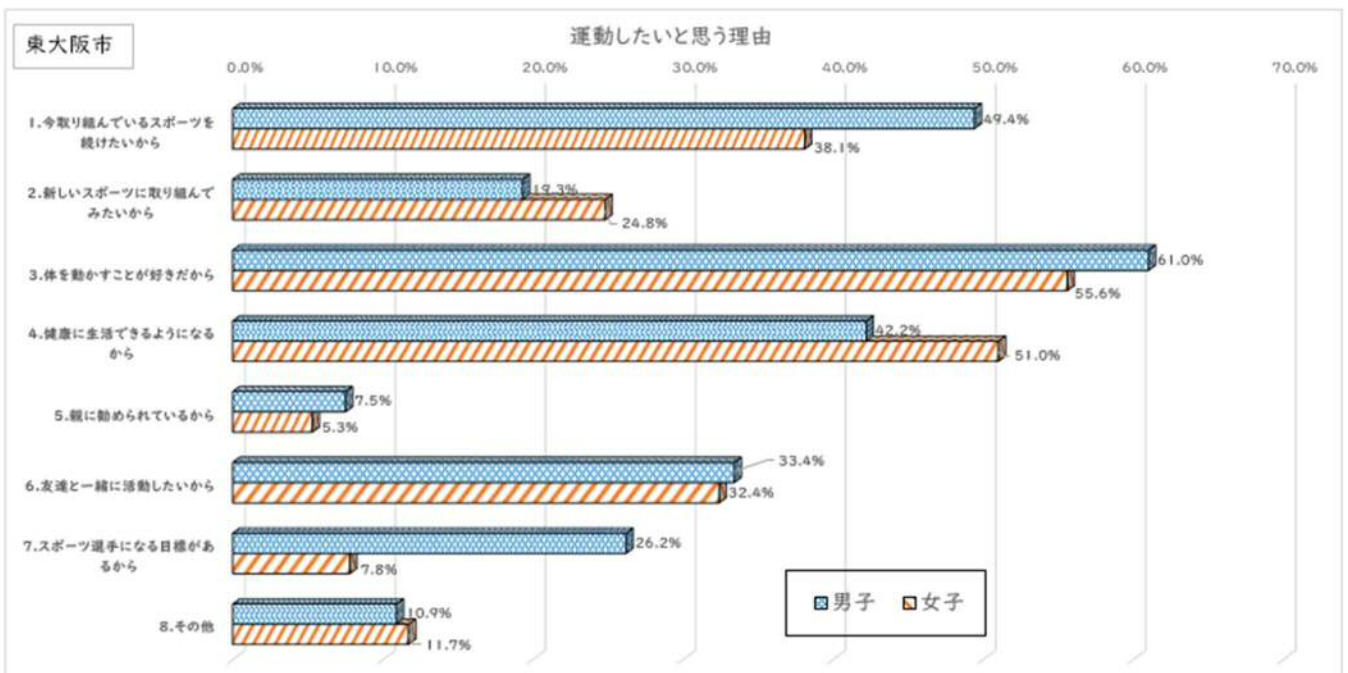
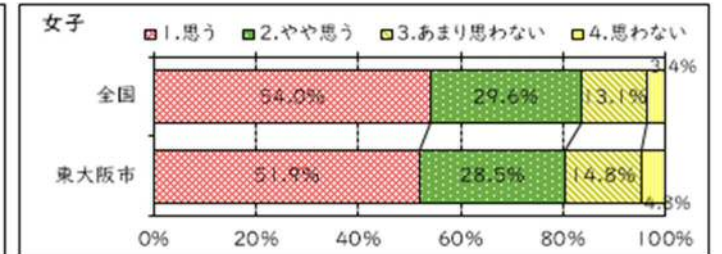
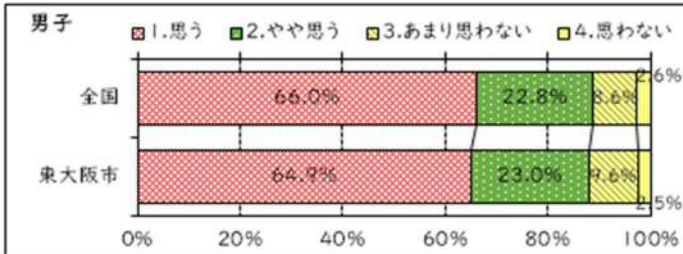
### 体育の授業に関すること

体育の授業は楽しいですか。



### 中学校進学後のこと

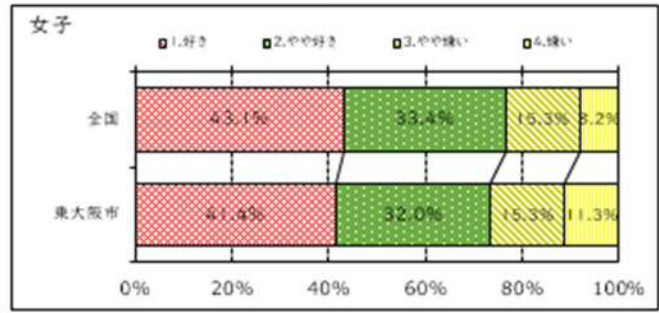
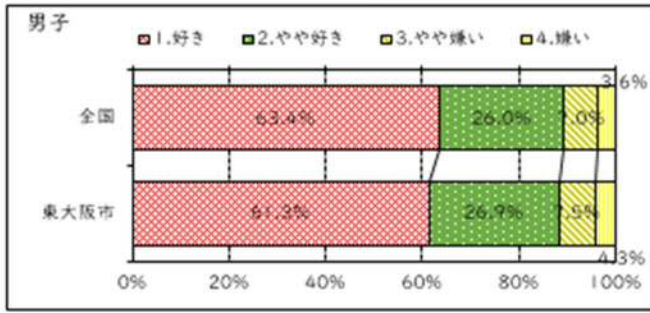
中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



○中学2年生

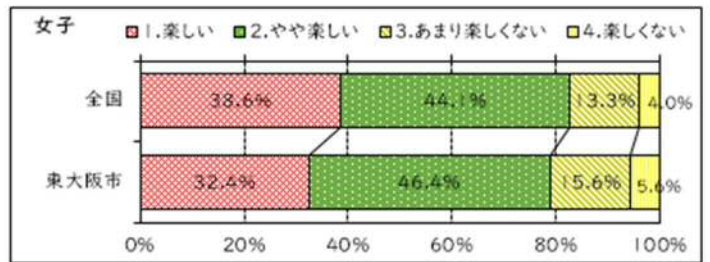
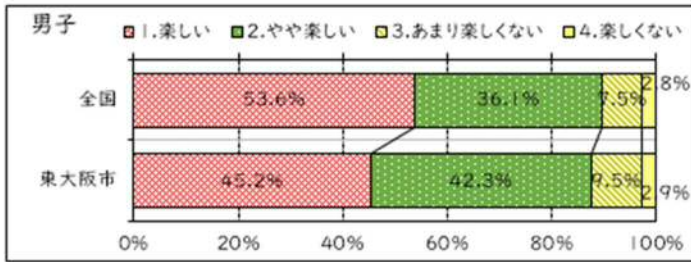
生活に関すること

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。



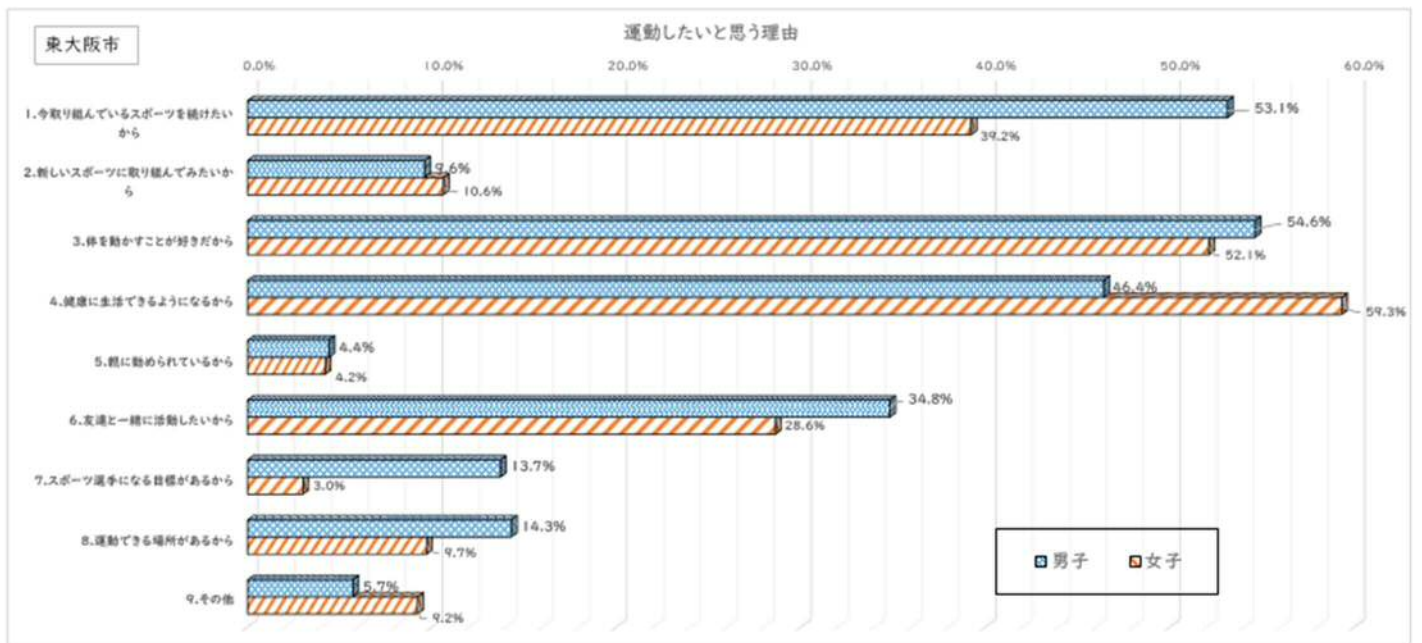
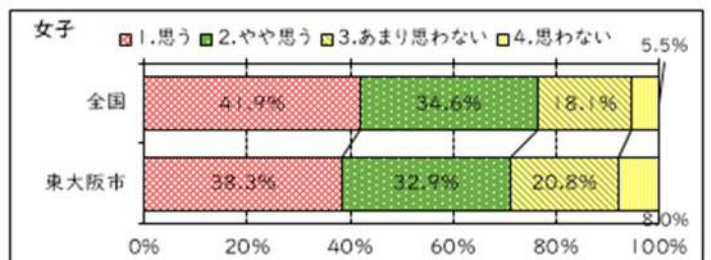
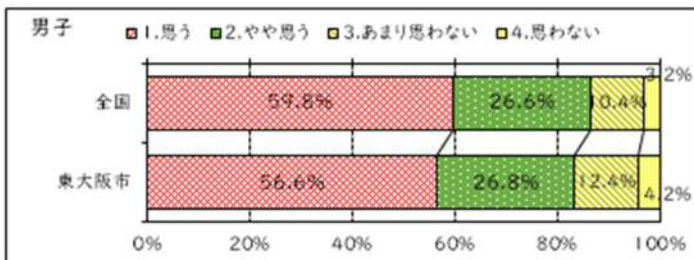
体育の授業に関すること

体育の授業は楽しいですか。



卒業後のこと

中学校を卒業した後も、自主的に運動授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



## 【質問調査の分析、考察】

### 【分析】

#### <生活に関すること>

- ・「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目で、小5は男女ともに全国より高いが、中2は男女ともに全国より低い。
- ・男女別で見ると、小5、中2ともに男子の方が「運動やスポーツをすることが好き」の割合が高い。

#### <体育の授業に関すること>

- ・「体育の授業は楽しいですか」の項目で、小5の男子は、全国と差はないが、小5女子、中2の男女は全国と比べ低い。

#### <中学校進学後(小5)、卒業後(中2)の運動に関すること>

- ・小5男子、中2男子は「今取り組んでいるスポーツを続けたい」「体を動かすことが好き」の項目で割合が高く、小5女子、中2女子では「体を動かすことが好きだから」「健康に生活できるようになる」の項目で高い数値がみられた。

### 【考察】

小学校、中学校の「体育の授業が楽しい」では、全国と比較して低くなっていること、及び、小学校と比較して中学校の割合が下がっていることから、保健体育の授業で、児童生徒が楽しさや喜びを味わえるような発達段階に応じた工夫とともに、各種の運動を適切に行わせることで児童生徒の体力の向上に繋げることが求められる。

小学校、中学校の「中学校に進学後(小5)、卒業後(中2)の運動に関すること」では、「体を動かす事が好き」や「健康」に関する回答が上位であったことから、運動領域と保健領域との関連を図った指導をより一層すすめることで、児童生徒が運動と健康との関係性を深く理解し、より実生活に運動等を取り入れやすくなると考えられる。

## Ⅲ. 今後の方針

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から見られる本市の児童生徒の体力・運動習慣等の課題について、その改善を図るため、以下の取組みを進めていく。

### ○本市の取組み

- ・結果の分析を行い、本市の課題を明らかにし、今後の方策について検討するとともに学校に発信する。
- ・学校の工夫した取組みや全国、大阪府の好事例を集めるとともに、学校への情報提供に努める。

### ○学校における取組み

- ・本調査の「記録シート」等を通して児童生徒自らが自分の運動能力を知り、今後の運動の目標を持ち、実践できるように努める。
- ・保健体育の授業において、一人ひとりが達成感を得られるよう、きめ細かい指導を行うとともに、運動量の確保に努める。
- ・体力向上に関する府・市の実施する事業等を有効活用し、継続的に児童生徒が運動に親しむ機会をもてるように工夫する。
- ・各校において、一人ひとりの児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等を把握し、課題の改善に向けた取組みを推進する。

### ○幼児期からの取組み

- ・幼児期から遊びを通して運動に親しみ、体を動かす心地よさや楽しさを体験し、健康な体づくりや運動に取り組む意識を育てる。
- ・幼稚園、こども園、小学校、中学校、義務教育学校が連携し、発達段階に応じた指導・取組みの充実を図る。

### ○家庭・地域との連携

- ・園児・児童・生徒の運動習慣・生活習慣の見直しと改善を図るため、学校園と家庭、地域が連携し、地域のスポーツ行事等への参加の啓発等、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質や能力の基礎を育てる取組みを進めていく。

### ○各研究会との連携

- ・東大阪市小学校体育研究会、東大阪市中学校保健体育研究会と連携し、授業研究や体育的行事についての取組みの充実を図る。